

水稲用一発処理除草剤

キラキラ®

1キロ粒剤
フロアブル
ジャンボ

光る除草力!
うれしい低コスト!

ハビエ



ホタルイ



オモダカ



イボクサ



ホソバヒメミノハギ



SU抵抗性雑草
(ホタルイ、オモダカ等)に加えて、
イボクサや
ヒメミノハギ対策にも!

高効果 + 低コストの一発剤!
効き目だけでは満足できないあなたにオススメ!

キラリの特長

- ノビエを始めSU抵抗性のオモダカやホタルイなど、難防除雑草に優れた効果を示します。
- 各種雑草に長い残効性を持ち、水稻への安全性も高く、田植当日の処理に適しています。
- イボクサ・クサネム・ヒメミソハギなど特殊雑草にも効果を発揮します。



適用雑草の範囲及び使用方法

キラリ1キロ粒剤 ■有効成分：ピラクロニル：2.0% イマズスルフロン：0.90% テフリルトリオン：2.0% ■人畜毒性：普通物* ■農林水産省登録：第24327号

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	使用方法	総使用回数
移植水稻	一年生雑草及びマツバイ ホタルイ、ヘラオモダカ ミズガヤツリ、ウリカワ ヒルムシロ、セリ、オモダカ クログワイ、コウキヤガラ アオミドロ・藻類による 表層はく離	移植時	1kg/10a	田植同時 散布機で施用	本剤 1回 ピラクロニル剤 2回 イマズスルフロン剤 2回 テフリルトリオン剤 2回
		移植直後～ ノビエ2.5葉期 ただし、 移植後30日まで		湛水散布 又は 無人航空機 による散布	
直播水稻	一年生雑草及び ホタルイ、ウリカワ ミズガヤツリ ヒルムシロ、セリ	稲1葉期～ ノビエ2.5葉期 ただし、 収穫90日前まで			

雑草名	散布適期
ノビエ	2.5葉期まで
ホタルイ、ウリカワ	2葉期まで
ヘラオモダカ	4葉期まで
ミズガヤツリ	草丈15cmまで
ヒルムシロ	発生期まで
セリ	再生期まで
オモダカ、クログワイ	発生前～発生始期まで
コウキヤガラ	発生始期まで
アオミドロ・藻類 による表層はく離	発生前～発生始期

キラリフロアブル ■有効成分：ピラクロニル：3.8% イマズスルフロン：1.7% テフリルトリオン：3.8% ■人畜毒性：普通物* ■農林水産省登録：第24488号

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	使用方法	総使用回数
移植水稻	一年生雑草及びマツバイ ホタルイ、ウリカワ ミズガヤツリ、ヒルムシロ セリ、オモダカ クログワイ、コウキヤガラ アオミドロ・藻類による 表層はく離	移植時	500ml /10a	田植同時 散布機での施用	本剤 1回 ピラクロニル剤 2回 イマズスルフロン剤 2回 テフリルトリオン剤 2回
		移植直後～ ノビエ2.5葉期 ただし、 移植後30日まで		原液湛水散布、 水口施用 又は 無人航空機 による滴下	
直播水稻	一年生雑草及びマツバイ ホタルイ、ウリカワ ミズガヤツリ ヒルムシロ、セリ	稲1葉期～ ノビエ2.5葉期 ただし、 収穫90日前まで			

雑草名	散布適期
ノビエ	2.5葉期まで
ホタルイ	2葉期まで
ウリカワ	3葉期まで
ミズガヤツリ	草丈15cmまで
ヒルムシロ	発生期まで
セリ	再生期まで
オモダカ、クログワイ	発生前～発生始期まで
コウキヤガラ	発生始期まで
アオミドロ・藻類 による表層はく離	発生始期まで

キラリジャンボ ■有効成分：ピラクロニル：5.0% イマズスルフロン：2.25% テフリルトリオン：5.0% ■人畜毒性：普通物* ■農林水産省登録：第24489号

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	使用方法	総使用回数
移植水稻	一年生雑草及びマツバイ ホタルイ、ヘラオモダカ ウリカワ、ミズガヤツリ ヒルムシロ、セリ、オモダカ クログワイ、コウキヤガラ アオミドロ・藻類による 表層はく離	移植直後～ ノビエ2.5葉期 ただし、 移植後30日まで	小包装 (パック) 10個 (400g) /10a	水田に 小包装(パック) のまま 投げ入れる	本剤 1回 ピラクロニル剤 2回 イマズスルフロン剤 2回 テフリルトリオン剤 2回
		稲1葉期～ ノビエ2.5葉期 ただし、 収穫90日前まで			
直播水稻	一年生雑草及びマツバイ ホタルイ、ウリカワ ミズガヤツリ ヒルムシロ、セリ				

雑草名	散布適期
ノビエ	2.5葉期まで
ホタルイ、ヘラオモダカ	2葉期まで
ウリカワ	3葉期まで
ミズガヤツリ	草丈15cmまで
ヒルムシロ	発生期まで
セリ	再生期まで
オモダカ、クログワイ	発生前～発生始期まで
コウキヤガラ	発生始期まで
アオミドロ・藻類 による表層はく離	発生前

*毒物及び劇物に該当しないものを指している通称

使用上の注意事項 (一部抜粋)

【3割型に共通する注意事項】

- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なもので、ノビエの2.5葉期までに時期を失しないように使用してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にフレが出るので、必ず適期に使用するよう注意してください。また、オモダカ、クログワイ、コウキヤガラは発生期間が長く遅い発生のもまで十分効果を示さない場合があるので、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用してください。
- 本剤散布後、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
- 浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平作業及び植え付けはていねいに行ってください。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいに行ってください。
- 軟弱苗を移植した水田、極端な浅植えをした水田、極端な深水となった水田及び砂質土で漏水の大きな水田(減水深2cm(日以上)では、薬害を生じるおそれがあるので使用しないでください。
- 直播水稻栽培では、稲の根が露出する条件では薬害を生じるおそれがあるので注意してください。
- 除草効果が低下するおそれがあるので、著しい降雨が予想される場合には使用を控えてください。
- 本剤は、その殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は、十分注意してください。
- いぐさ栽培予定水田では使用しないでください。
- 本剤散布後の田面水を他作物に灌水しないでください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないよう注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用してください。特に初めて使用する場合は異常気象の場合には、病害虫防除等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 水産動物(藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 散布後は水管理に注意してください。

【1キロ粒剤、フロアブルに共通する注意事項】

- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空袋・空容器等は水産動物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 畜に対して影響があるので、周辺の養豚にはかからないようにしてください。

【1キロ粒剤の注意事項】

- 散布に当たっては、水の出入りを止め湛水状態(3～5cm)で均一に散布してください。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の処置を受けてください。
- 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすしてください。

ちに石けんでよく洗い落とすしてください。

- 無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。
- 直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。
- 【フロアブルの注意事項】
- 使用前に容器を軽く振ってください。
- 原液湛水散布に当たっては、水の出入りを止め湛水状態(水深3～5cm)で本剤が水田全面にいきわたるよう散布してください。
- 水口施用の場合は、入水時に本剤を水口に施用し、流入水とともに水田全面に拡散させ、処理後田面水が通常の湛水状態に達したときに必ず水を止め、田面水があふれ出ないように注意してください。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、長スボン・長袖の作業衣などを着用し、作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものと分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 無人航空機による滴下で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。
- 直射日光をさけ、なるべく低温な場所に密封して保管してください。
- 【ジャンボの注意事項】
- 散布に当たっては、水の出入りを止め5～6cmの湛水状態に保ってください。
- 本剤は小包装(パック)のまま、10アール当たり10個の割合で水田に投げ入れてください。
- パックに使用しているフィルムは水溶性なので、濡れた手で作業したり、降雨で破損することがないようにしてください。
- 葉や浮き草が多発している水田では、拡散が不十分となり部分的な薬害や効果不足を生じることがあるので使用をさけてください。
- 水溶性フィルム包装が破損した場合は以下の点に注意してください。
- 眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の処置を受けてください。
- 空袋等は水産動物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 水溶性フィルムは吸湿性があるので、湿気には十分注意し、使い残りは外袋の口を固く閉じて保管してください。また、強く加圧されると水溶性フィルムが劣化するおそれがあるので下積みにならないようにしてください。
- 直射日光をさけ、食品と区別して、子供の手のとどかないなるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。

本資料の記載内容は2021年7月現在の登録内容に基づいています。

★使用前にはラベルをよく読んでください。★ラベルの記載以外には使用しないでください。★本剤は小児の手の届くところには置かないでください。★空袋・空容器は圃場などに放置せず、適切に処理してください。